



## GRESB へ「不動産投資家メンバー」として加盟しました

GPIF は不動産・インフラストラクチャー投資分野における ESG(環境・社会・ガバナンス)評価基準を提供するイニシアティブ「GRESB」に不動産投資家メンバーとして加盟しました。

GPIF は環境、社会問題などが資本市場に与える負の影響を減らし、運用資産全体の長期的なリターンを向上するため、ESG を考慮した投資を推進してきました。

このたび、不動産投資分野においても、市場全体の ESG 情報の開示促進と運用受託機関等との建設的な対話促進のため、GRESB に加盟しました。

GPIF は自らのステewardship責任を果たすため、不動産の投資・運用プロセスにおいて、GRESB 評価制度を積極的に活用することを運用受託機関に求めています。

### GRESB の概要



GRESB は 2009 年に欧州の年金基金を中心に設立されたイニシアティブで、不動産及びインフラストラクチャー投資における ESG 評価基準を提供しています。毎年一度、不動産会社や不動産ファンドにおける ESG 投資の取り組みや達成度を評価します。2019 年の年次評価では 1,000 を超える不動産会社及びファンドが参加し、インフラストラクチャーを含めるとその対象となる実物資産は約 4.5 兆ドルに達します。100 以上の機関投資家(合計運用資産 22 兆ドル超)が投資家メンバーとして、評価結果を投資先の選定、モニタリングやエンゲージメントに活用しています。